

チューター通信

2009年度

第4号（通巻45号）

2010/01/21

河村さん、蔡さんにインタビュー！

今回はチューターの河村道代さんと中国からの留学生、蔡雪蓮（さい・せつれん）さんにインタビューをしました。

惟任：お二人はどうしてチューター活動を始めようと思ったのですか。

蔡：早く日本語の勉強をしたいと思ったからです。

河村：海外へ行くたびにいろいろな人と出会い、様々な経験をしたり、今まで自分の知らなかったことを教えてもらったりして、成長させてもらったので。

惟任：では、お互いの第一印象はどうだったのでしょうか。

蔡：（笑）きれいだし、（笑）おもしろいし…。

惟任：お二人を見ていますと、いつも笑顔が絶えないというか、そういう印象があるのですが。

河村：そうですね。私も笑いの絶えない活動をしたいと思っているので。

惟任：今はお互いをどのように思っていますか。

蔡：今は日本語が少し話せるようになって、うれしいです。

河村：蔡さんは去年の頃は日本語を全然知らなかったにもかかわらず、今はとても上手に話せるようになって、本当にすごいと思います。私にはできない。

蔡：ありがとうございます（笑）。

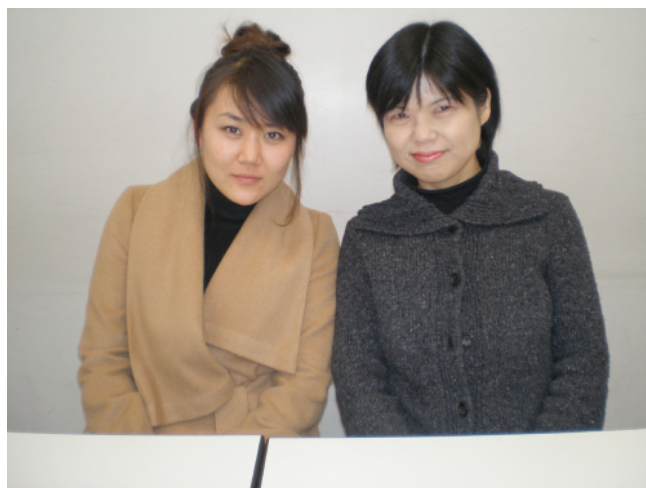
河村：尊敬してしまう！

惟任：普段はどのような話をされているのでしょうか。

蔡：いろいろな話ですが…（考え込む）

河村：どんな話だっけ？

蔡：食べ物の話とか、息子さんの話とか、お酒を飲む話とか（笑）…。



河村：中国の話とか。

私は知らなかったんですけど、中国で韓国語を話す地域があるということ。初めて知ったんですけど、学校へ行ってから初めて中国語を習う地域があるということ。それも本当にちょっとしたカルチャーショックというか。毎回、何か知らなかったことを知ることができて、いい刺激というか、楽しみです。

惟任：では、楽しくチューター活動ができる秘訣は何でしょうか。

二人：(笑)(考え込む)

蔡：河村さんがおもしろいですから、たくさん笑います。

河村：相手に興味を持つこと、相手の国に興味を持つこと、また、共通の趣味や話題があれば、話も広がるし、どんなことでも話ができ、そうですね、好奇心が旺盛な人ほど向いているとは思いますが。

惟任：今までの活動や話の中で印象に残っていることは何でしょうか。

蔡：たくさんありますが、河村さんのお子さん二人のことです。一人は12月23日が誕生日で、もう一人が27日が誕生日で、毎日ケーキを食べたという話(笑)。

河村：はい(笑)。24日はクリスマスイブ、25日はクリスマスで。それで、お正月にはたくさんごちそうを食べて、お酒も飲んで。二人でお酒を飲んだことはないんですけど、また、外で飲んでみたいと思っています。

惟任：では、それぞれ相手に一言、お願いします。

蔡：私は卒業まで河村さんといっしょにいろいろ話をしたいと思っています。

河村：そう言っていただけると光栄です(笑)。すごくうれしいです。何かあったら頼ってくれてもいいからねと言っているんですけどね。

惟任：今日は貴重な時間を使わせていただき、本当にありがとうございました。

蔡さんは初級とは思えないほど日本語が上達していて、びっくりしました。これは本人の努力はもちろん、河村さんの力も非常に大きいと思いました。お互いが尊重し合い、高めあっていける関係が築けていて、非常にうれしく思った次第です。

今年度より、午後のコース(実用日本語コース)担当となったため、チューターのみなさんとお会いする機会が大幅に少なくなりましたが、それでも、時間の許す限り、受付に立ったり、活動の様子を覗かせていただいたりしています。また、このチューター通信もよりいっそう充実させていきたいと思っています。今後ともよろしく願います。